

保存版

防災の手引き

～みんなで災害に備えよう～



↑ 文化サロンとして親しまれた
喫茶店「LA PAVONI」。
残念ながら、1995年の阪神・
淡路大震災で全壊。

← 多くの文化人が集った安井文化通り
千歳町、寿町から夙川方面を望む。

千歳町自治会自主防災会

2024年10月発行

目次

千歳町の皆様へ	1
Ⅰ. 千歳町の災害リスク	1
Ⅱ. 避難先	2
Ⅲ. 風水害	
1. 想定最大規模の降雨による夙川からの洪水浸水	3
2. 洪水からの避難行動	4
3. 高潮	4
4. 土砂災害	5
Ⅳ. 地震・津波	
1. 南海トラフ地震の想定	6
2. 地震発生時に命を守る基本行動	6
3. 南海トラフ地震での津波と千歳町	7
4. 津波から命を守る3つの避難行動	8
防災コラムー避難のポイントー	10
Ⅴ. 日頃の備え	
1. 家具の転倒防止や配置の工夫	11
2. 地震発生時の出火防止	11
3. 備蓄品	12
4. 非常持出品の準備	13
5. 情報収集手段	14
Ⅵ. 千歳町の防災体制	
1. 組織編成と平常時・災害時の活動	15
2. 万への備え（リスク管理）	15
3. 自主防災会各班のメンバー自身が被災したとき	15
4. 防災倉庫	15
5. 千歳町自治会防災計画	16
6. 千歳町自治会自主防災会規約	17
マイ避難プラン	背表紙
いざという時の連絡先	背表紙

千歳町の皆様へ

災害はいつ起きるか分かりません。

「想定外の災害、何十年に一度の災害」と最近よく耳にしますが、近年は線状降水帯による短時間局地的豪雨や、勢力の強い台風が毎年のように日本列島を襲い、各地で大きな被害をもたらしています。

南海トラフ地震も発生確率が10年以内に30%、30年以内に70~80%とされ、広域にわたる甚大な被害と、この地域でも震度6弱が想定されています。

このような情勢に鑑みて、災害から自分と家族を守り、隣人への手助けができるよう、日頃からどのような備えをすべきか、災害が差し迫ったときの避難をどうするかなどを、千歳町の地勢に即してまとめまして、この度、「防災の手引き」を作成しました。

本誌が皆様のお役に立てば幸いです。

I. 千歳町の災害リスク

1. 洪水

大雨のとき、夙川の氾濫による洪水と、その前に道路の冠水などが想定されています。⇒3, 4ページへ。

2. 高潮

千歳町は高潮による浸水の想定区域外とされています。

3. 土砂災害

千歳町は土砂災害警戒区域の外とされています。もっとも、土砂災害の約3分の1は警戒区域の外で発生しており、それは橋に大量の流木が引っかかって土石流の方向が変わるなどの場合です。周囲の土砂災害警戒区域を確認し（⇒5ページ）、大雨などの際は情報収集に努めましょう。

4. 地震と津波

南海トラフ地震では、鳴尾御影線以南の地域については津波による浸水が想定されています。千歳町は津波浸水想定区域の外とされていますが、不測の事態に備えておいた方が賢明でしょう。⇒6~9ページへ。

II. 避難先

考え方

(1) 自宅

自宅が安全なら避難せず、自宅で待機します。



(2) 親戚・知人宅・ホテル

避難先は、避難所よりも、安全な親戚等知人宅またはホテルが望ましい。

感染防止や大勢で過ごすストレス回避のため。

日頃からご近所付き合いを大切に、助け合いましょう。



(3) 周辺の指定避難所

千歳町周辺には以下の避難所があります。

台風・大雨で開設 (避難情報発令前に開設)	大規模災害時に開設 (南海トラフ地震等)	AED	ペット 原則屋外
82 大社小学校 桜谷町9-7	83 安井小学校 安井町1-25	○	○
	88 安井市民館 安井町2-4	○	○
	118 夙川公民館 羽衣町1-39	○	○
	82 大社小学校 桜谷町9-7	○	○

※大規模災害時は原則全ての避難所が開設されます。

※長期にわたり避難所を開設する場合は、運営を避難者全員が協力して行います。

避難に際しての注意点

避難所に向かう前に、必ず開設状況を確認して下さい。

避難所までの道中も大変危険です。安全に移動できるうちに

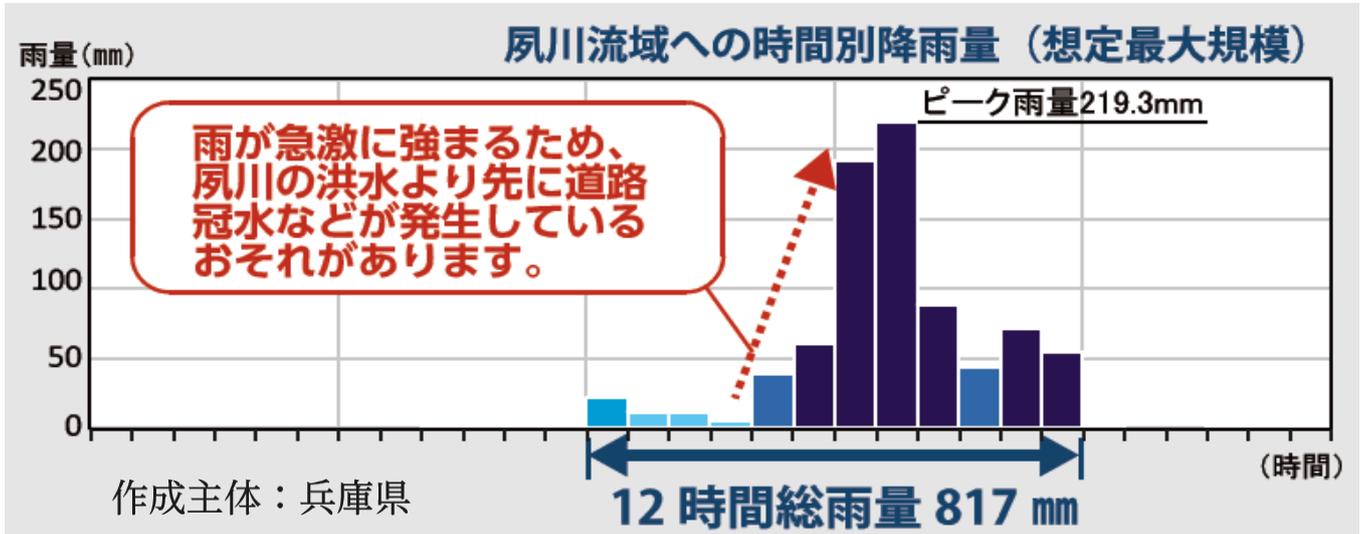
早めに避難しましょう。



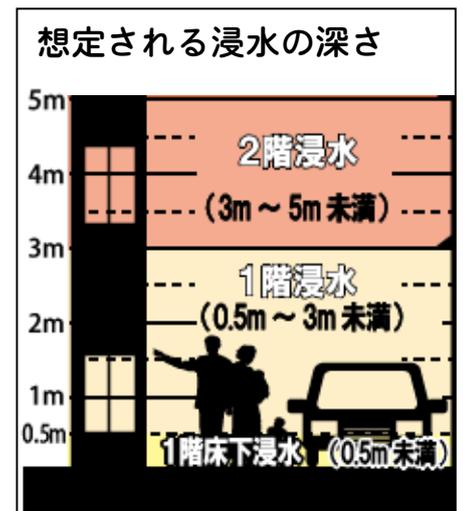
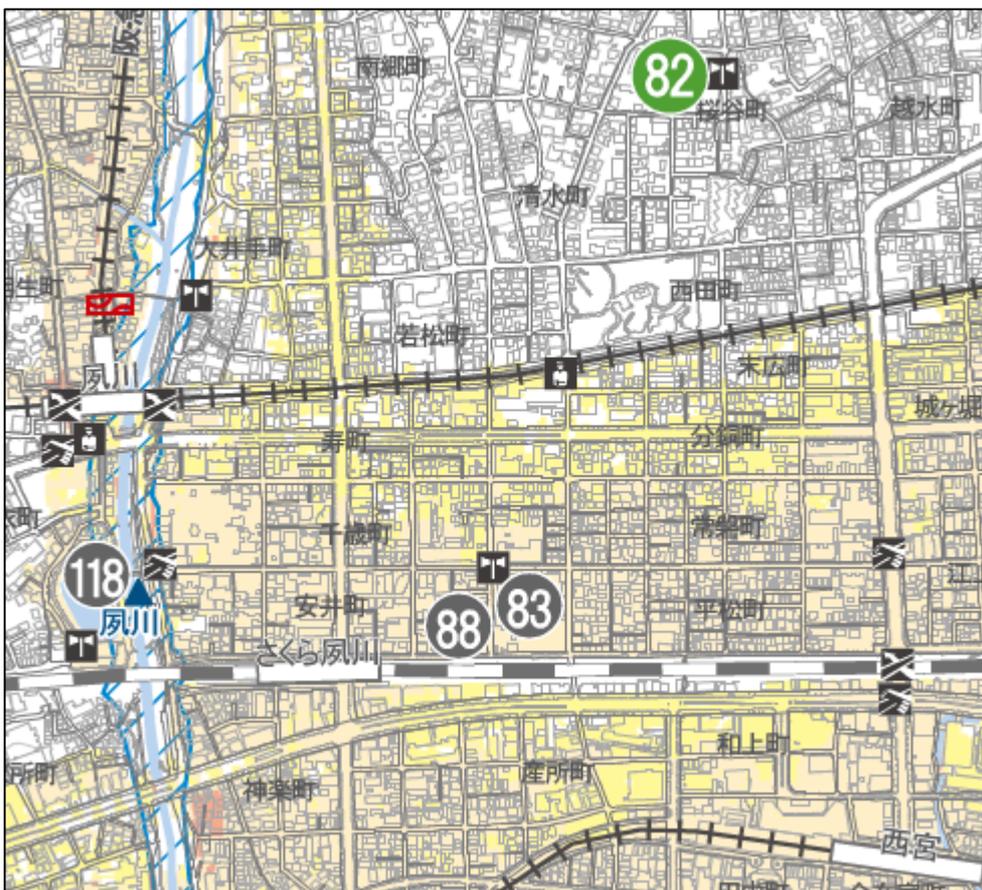
Ⅲ. 風水害

1. 想定最大規模の降雨による夙川からの洪水浸水

夙川流域での極めて急激な大雨（想定最大規模：下図参照）のときに、夙川が氾濫する可能性があります。

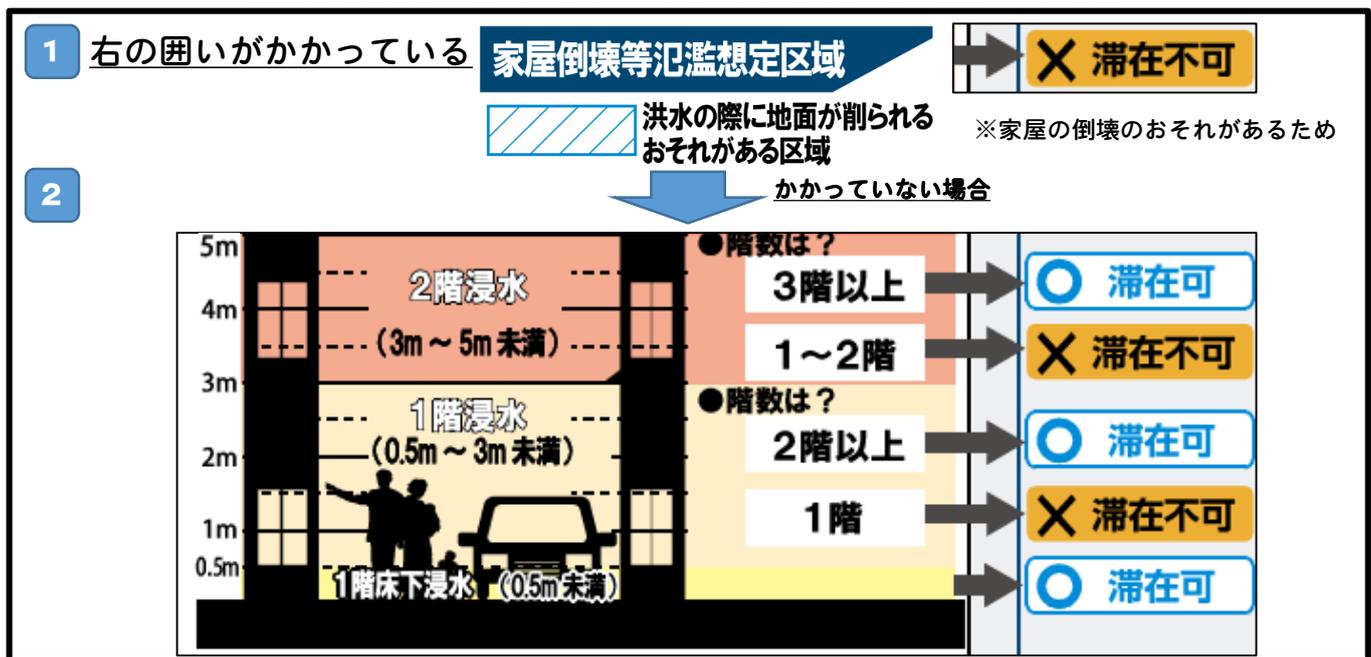


千歳町の大半は、最大で1階浸水（0.5～3m）、浸水継続12時間未満の想定ですが、夙川沿いの一部区域については2階浸水（3～5m）と、家屋倒壊等氾濫想定区域（洪水の際に地面が削られるおそれがある区域）が含まれています。



2. 洪水からの避難行動

避難行動（自宅に留まれるかなど）の判定



夙川の氾濫による洪水のときの避難の基本的な考え方

急激な大雨による場合が多く、避難することがすでに危険になっている可能性が高い。

- ①上の図に示す「滞在可」なら、自宅の上の階へ「在宅での垂直避難」。
- ②上の図に示す「滞在不可」なら、最寄りの親戚・知人宅、ホテル等または 大社小学校へ、警戒レベル4「避難指示」の段階までに避難します。

避難を助ける情報について

避難を助ける情報について

- 災害発生危険が高まった場合、市から避難情報が発令されます。
- 「避難情報」が発令されたら、早目の行動を！

ここまでに行動してください

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
避難情報	早期注意情報	大雨・洪水注意報など	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
みなさんの行動	最新情報に注意	避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保
	気象庁が発表		市が発令		

3. 高潮

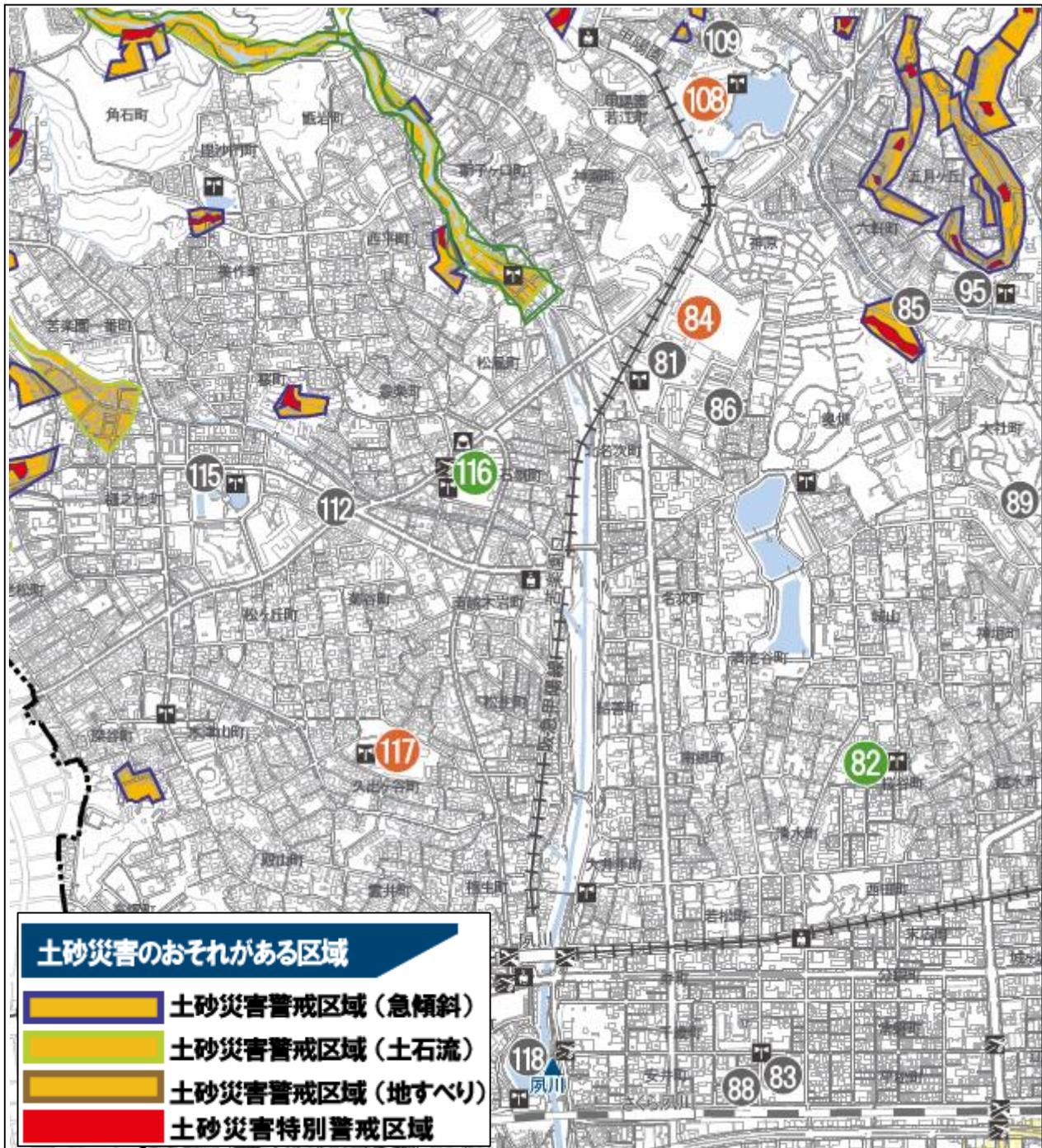
千歳町は高潮浸水想定区域には該当しませんので、高潮の避難情報が発出されても、避難する必要はありません。

4. 土砂災害

千歳町は土砂災害警戒区域に指定されていませんが、土砂災害の36.5%は警戒区域外で発生しています（※）。

土石流が構造物にあたって流れが変わることがあるほか、記録的大雨が増え、土砂災害はここ10年、前の10年比で22.5%増（※）となっていることから、千歳町においても周囲の土砂災害警戒区域を確認し、大雨などの際は情報収集に努めましょう。

（※朝日新聞2024年4月24日付朝刊より）



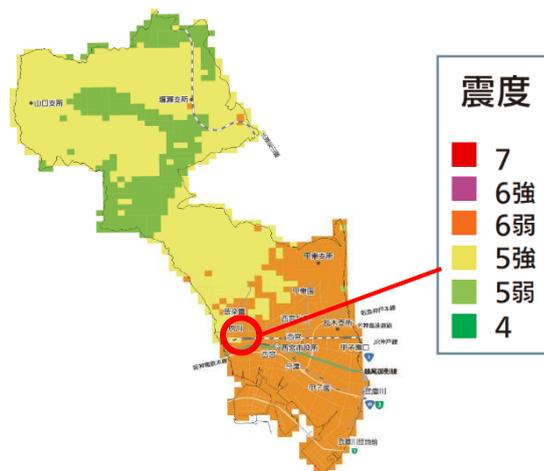
令和5年発行 西宮市防災マップ より抜粋

IV. 地震・津波

1. 南海トラフ地震の想定

今後30年以内に発生する確率は、
70～80%と予想されています。
また、震度は**6弱**が想定されています。

※南海トラフ地震ほどの発生確率ではないですが、
最大震度7の直下型地震も想定されています。



2. 地震発生時に命を守る基本行動



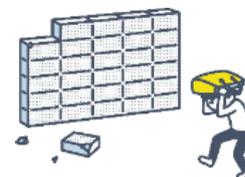
屋内にいる場合

- 大型家具からなるべく離れる。
- 揺れが収まったら、戸やドアを開けて逃げ道を確保。
- 慌てて外に飛び出さない。
- エレベーターは使わない。もし乗っていたら階数ボタンを全部押し、停止した階で降りる。



屋外にいる場合

- ブロック塀や石塀、電柱や自動販売機などから離れる。
- カバンなどで頭を保護し、できるだけ建物から離れる。
- 切れた電線には絶対に触らない。



車を運転中の場合

- 徐々にスピードを緩め、道路の左側に停車する。
- 揺れが収まるまでは慌てて車外に出ず、ラジオなどで地震情報を得る。
- 車から離れるときはドアをロックせず、キーはつけたままにする（エンジンは切る）。

動画で楽しく学べます！
「3分で分かる2種類の地震」



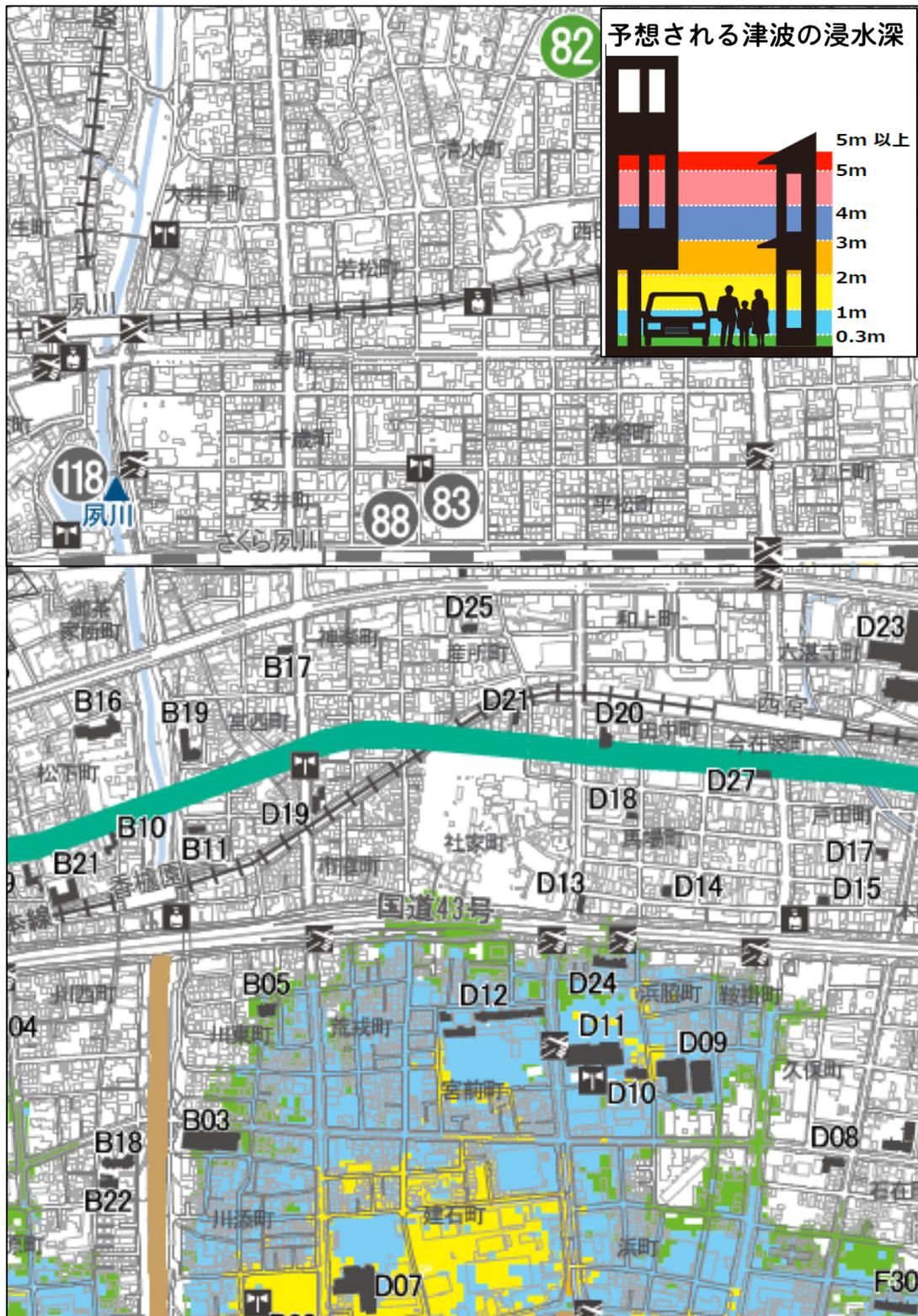
動画で楽しく学べます！
「地震発生から生き延びるコツ」



3. 南海トラフ地震での津波と千歳町

南海トラフ地震では、鳴尾御影線以南には津波による浸水が想定されています。千歳町は一応の想定外となっていますが、不測の事態に備えた方が賢明でしょう。

地震発生時から112分後に西宮市に津波が到達すると試算されていますので、落ち着いて対処しましょう。



令和5年発行 西宮市防災マップ より抜粋

4. 津波から命を守る3つの避難行動

津波警報や避難指示が出た場合、自分の居る場所・状況に応じた避難方法を選択しましょう！

(1) 垂直避難

垂直
避難

津波避難ビルなどの“3階以上”へ避難する

津波避難ビルや鉄筋コンクリート造などの建物の3階以上へ、一時的に避難する。



(2) 水平避難

水平
避難

鳴尾御影線より北側へ避難する

津波が到達しないと想定されている場所（避難対象地域外）まで、徒歩または自転車で避難する。



(3) 自宅等待避

自宅等
待避

鉄筋コンクリート造などの“3階以上”に居る場合は、その場にとどまる。

地震による建物の損傷・火災や周辺の火災がないなど、その建物の安全が確認できた場合は、その場にとどまる。



動画で詳しく学べます！
「3分で分かる 津波から命を守る3つの行動」



千歳町自治会自主防災会の津波避難の考え方

大津波警報のときは「できるだけ高い場所へ避難しましょう」

以上、(1)～(3)の避難行動は、南海トラフ地震(M9.1)による最大クラスの津波(最高津波水位3.7m)を想定したものになっています。

しかし、大津波は数十年か百年に一度くらいの事象であり、事例データが乏しいことから予測が難しく、想定内に収まるとは限りません。実際、東日本大震災では想定をはるかに上回る大津波が襲いました。

想定外の津波に対しても一定柔軟に対応できるように、できる限り高いところに避難しましょう。千歳町からなら、例えば西田公園や大社小学校などへ。

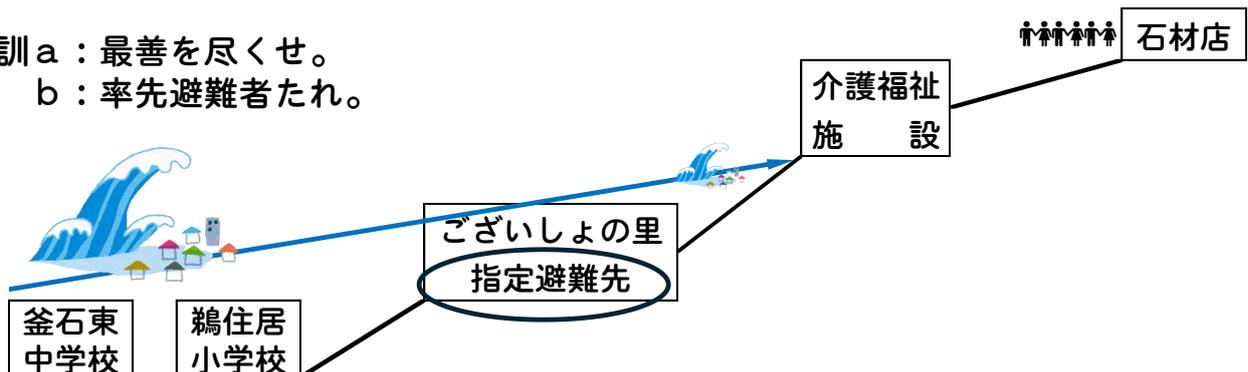
事例：大津波を逃れた釜石の子供たち

「防災士教本2024年度版」より要約

- ①2011年3月11日、東日本大震災のとき、岩手県釜石東中学校の校庭で部活動中の生徒たちは「津波が来るぞ。逃げろ!」と校舎に向かって叫びながら走り出し、他の生徒たちもこれに続いた。
- ②隣接する鵜住居(うのすまい)小学校の児童たちは校舎の3階に避難していたが、中学生たちの後に続いた。
- ③小中学生たちは指定避難先の「ございしよの里」に到着した。しかし、眼下の津波を見て「ここじゃダメ」と判断し、さらに高台の介護福祉施設を目指した。
- ④近隣の住民もこれを見て合流した。
- ⑤全員が介護福祉施設に無事到着し、その30秒後に津波がこの施設の間近に迫ってそこで止まった。
- ⑥一行はさらに高台の石材店まで避難した。

結果、津波は釜石東中学校と鵜住居小学校の屋上をはるかに超え、ございしよの里も3mの津波に呑まれた。釜石東中学校の部活動生たちの英断が、自分たちのみならず近隣の小学生や大人たちの命までも救ったと言えます。

- 教訓 a：最善を尽くせ。
b：率先避難者たれ。



台風・大雨から避難するときの服装

避難するときは2人以上が原則です。ロープなどでお互いを結んで避難するとなおよいです。

既に浸水している場合は水路、溝やマンホールに注意が必要です。棒や傘などで確認しながら避難しましょう。

無理に避難するのはやめましょう。できるだけ浸水が始まる前に避難し、水深が膝まであるようなら自宅等のなるべく上階に避難することも検討しましょう。



棒などで安全を確認

ロープで結んで避難

履きなれた運動靴で避難

車での避難は大丈夫？



災害時の車での避難で気を付ける3つのポイント



- ・地震発生直後は渋滞に巻き込まれる可能性があるため、車で避難しない。
- ・大雨や台風の場合、接近前の早い段階なら車での避難も可。
- ・車中泊では、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に気を付ける。

ペット（動物）のための防災

●鑑札、迷子札、写真を用意しておきましょう

大切なペットが迷子にならないためにも、普段から飼い主を探す手掛かりになるものをつけておくことが大切です。



●ペットフードや水、トイレ用品を用意しておきましょう

避難所へペットと一緒に避難する場合は、人とペットのスペースは別となり、ペットの世話は飼い主の責任になります。ペットのための防災用品を備えましょう。

●避難所へはペットケージ、リード、ハーネスを！

動物が苦手な方、アレルギーの方もいます。お互いに気持ちよく過ごすためにマナーを守りましょう。



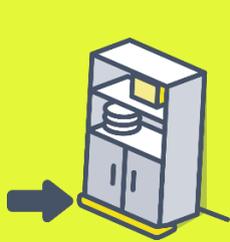
V. 日頃の備え

1. 家具の転倒防止や配置の工夫

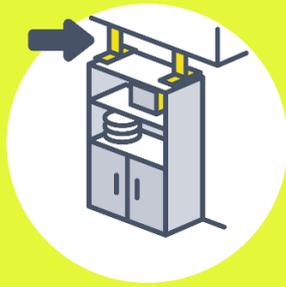
動画で詳しく学べます！



地震で大型家具が倒れてくると、大怪我や最悪の場合は命の危険があります。予め、ホームセンター等で器具を購入し、家具を固定しておきましょう。



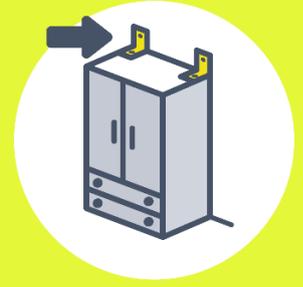
耐震マットなど



ポール式

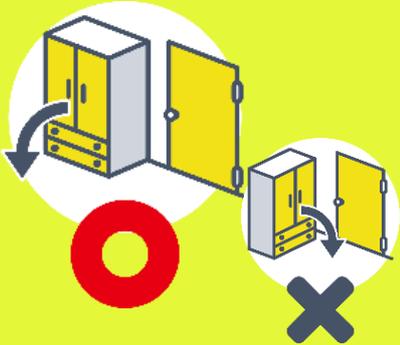


ベルト式

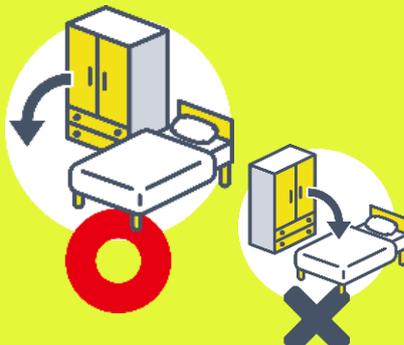


がた
L型金具

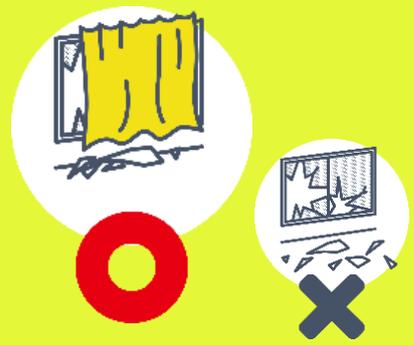
器具の取り付けが難しい場合は、家具を置く向き等だけでも工夫しましょう。



出口を塞がない向き



寝ている場所に倒れない向き



カーテンで飛散防止

2. 地震発生時の出火防止

- 地震発生時の火災は被害を何倍にも大きくします。
- 消火器を準備し、使い方を確認しておくなど、準備しておきましょう。
- 立ち退き避難時は、ブレーカーを落としましょう（通電火災防止）。



動画で詳しく学べます！
「消火器の使い方」



3. 備蓄品

災害時、支援物資はすぐには行き渡りませんし、ライフラインの寸断も考えられます。食料と飲料水は、**7日分準備**しておくことが推奨されています。

参考～電気・水道・ガスの復旧の目安

電気・水道・ガスが9割程度復旧するまでの日数
(参考:「一般財団法人日本気象協会HP トクする防災」より)

	阪神淡路大震災 1995年1月17日	東日本大震災 2011年3月11日
電気	2日	6日
水道	37日	24日
ガス	61日	34日



復旧は **電気 > 水道 > ガス**
の順番

品目	備考
食料 (7日間)	インスタント・レトルト食品、缶詰、栄養補助食品、お菓子など ※他にもカセットコンロなどの調理器具を備えていれば、普段食べているほとんどのものが備蓄食となります。
飲料水 (7日分)	大人1日当たり1日3リットル(水だけではなく、野菜ジュース、スポーツドリンクなど好きな飲み物も込みで)
トイレ用品	トイレ袋、トイレトーパー、汚物保管容器
燃料	カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料、電池など
その他	モバイルバッテリー、ランタン、懐中電灯、ウェットティッシュ、ラジオ、毛布、寝袋、食品用ラップフィルム、衛生用品、ポリタンク(生活用水を入れて備蓄しておく)など

発災後は①まず冷蔵庫の中の物から食べる。②非常食の他、③普段の食事ができるよう、普段から、普段食べるものを買置きして、普段からそれを食べ、無くなる前に買い足す(ローリングストック)などの工夫をして備えをしておきましょう。

調理用に、熱源となるカセットコンロとガスボンベを備えておきましょう。



※災害時の調理は、**節水**がポイントです。
災害食レシピはこちらから →

動画で詳しく学べます！
「ポリ袋調理を教えます！」



4. 非常持出品の準備

立ち退き避難する場合に備えて、非常持出品を準備しましょう。
最低限必要な、飲食料、衣類、感染防止品などは必ず持参。

非常持出品の例



非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの

□ 飲料 水



重くなりすぎないように、最低限
(500mlペットボトル2〜3本程度)

□ 非 常 食



食べやすく、
保存期間が長く、
調理せずに食べられるもの

□ 貴 重 品



現金（公衆電話用に10円玉）・
通帳の写し・健康保険証の写し・
免許証の写しなど

□ 救急用品・医療品 感染防止品



消毒薬・包帯・三角巾
マスク・体温計・スリッパなど

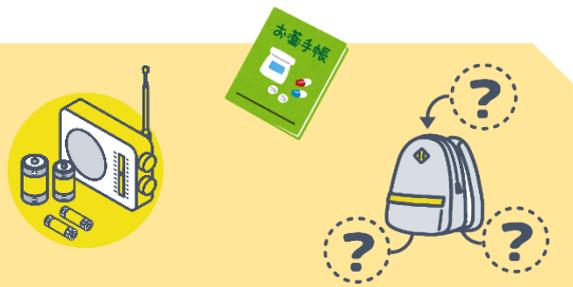
その他

- | | | |
|------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ホイッスル（笛） | <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん | <input type="checkbox"/> 底の丈夫な靴 |
| <input type="checkbox"/> <u>携帯電話のモバイルバッテリー</u> | <input type="checkbox"/> 厚手の手袋（軍手） | <input type="checkbox"/> 雨具、防寒具、保温シート |
| <input type="checkbox"/> 衣類（上着、下着、靴下） | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 携帯用カイロ |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ + 予備電池 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 + 予備電池 | <input type="checkbox"/> 筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> タオル、ハンカチ | <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ |
| <input type="checkbox"/> アイマスク、耳栓 | <input type="checkbox"/> 衛生用品 | <input type="checkbox"/> 簡易食器（割り箸、紙皿） |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー | <input type="checkbox"/> 石鹸、ドライシャンプー | <input type="checkbox"/> 携帯ナイフ、缶切り |
| <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> 歯磨きセット | <input type="checkbox"/> 家族やペットの写真 |
| <input type="checkbox"/> ポリ袋 | <input type="checkbox"/> 養生テープ | <input type="checkbox"/> ビニールシート |
| <input type="checkbox"/> 安全ピン | <input type="checkbox"/> 常用薬・お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 毛抜き（トゲを抜くため） |

※人によって必要なものは違います。世帯事情に応じたオリジナルの非常持出品を
備え置きましょう。

定期的に点検を行いましょ

- 賞味期限切れになっていないか
- ライトやラジオの電池は切れていないか
- 物品が不足していないか などを確認！



動画で詳しく学べます！
「5分で分かる 災害時の非常持出品」



5. 情報収集手段

災害時には複数の手段で情報が得られるよう、日頃から使い慣れておきましょう。

[ホームページ] [防災ポータル]



西宮市ホームページ・西宮市防災ポータル

防災・災害情報を確認
することができます。

URL (ホームページ) <https://www.nishi.or.jp/>
(防災ポータル) <https://www.nishinomiya-bousai.jp/>



にしのみや防災ネット(メール)・ひょうご防災ネット(アプリ)

事前登録必要

災害時などに市から緊急情報(避難所開設情報など)が配信されます。

※いずれも事前の登録が必要です。**難しい場合は、わかる人に登録してもらおう!**

登録案内 にしのみや防災ネット

メール nishinomiya@bosai.net

右のコードを読み取るか、
上記メールアドレスを直接
入力し空メールを送り返信
メールに記載の手順に従っ
て登録してください



登録案内 ひょうご防災ネット

[Android版]

[iOS版]

右のコードを読み取ると、
アプリをダウンロード
することができます。



緊急速報メール(エリアメール)

登録不要

設定が必要な場合もありますので、詳しくは
携帯電話会社各社にお問い合わせください

緊急情報が緊急速報メールに対応した携帯電話に配信されます。



SNS

X (旧Twitter)

アカウント名 [nishinomiya_shi](#)



Facebook
(フェイスブック)

ページ名 西宮市役所



LINE
(ライン)

アカウント名 西宮市
ID @miyakko



テレビの@dボタン

データ放送に対応しているテレビでは、「@ボタン」を押す
ことで、気象情報や災害情報を確認することができます。

ch サンテレビ 3ch
NHK 1ch など



緊急告知ラジオ(さくら FM78.7MHz)

緊急時には自動で電源が入り、防災ス
ピーカー(防災行政無線)と同じ内容を
最大音量で聞くことができます。

販売場所: 市内各所

詳しくは
市のホームページでご確認ください



緊急告知ラジオ



防災スピーカー

大きな音声やサイレンで防災・避難情報等を市民
の皆様へ伝達します。放送が聞こえたら、慌てず
にテレビやラジオからの情報収集に努め、落ち着
いて行動するように心がけてください。

防災スピーカーの放送内容を再確認

050-5578-2628 (通話料有料)

この番号に電話すると、放送してから24時間以内
の直近の放送内容を再確認することができます



災害時専用電話

地震・津波・洪水・高潮及び土砂災害等により発生した
災害に関する情報はこちらへ

0798-35-3456

動画で詳しく学べます!
「5分で分かる 災害時の情報収集」



VI.千歳町の防災体制

千歳町自治会自主防災会では、大災害に備えて様々なことに取り組みたいと考えています。ただ、大災害を乗り切るためには、住民の皆様の助け合いが不可欠です。いざというときに、自分自身や大切な人を守るためにも、日頃から防災訓練や学習会などに積極的にご参加下さい。

1. 組織編成と平常時・災害時の活動

各班の平常時と災害発生時の役割 メンバーは未編成で募集中です。

役割	平常時	災害発生時
情報班	防災知識の普及等	被害状況の収集・連絡
消火班	消火訓練の実施	火災の警戒・初期消火活動
救出救護班	救急講習の受講等	負傷者の救出・救護、物資配分
避難誘導班	避難訓練・防災点検	避難誘導
給食給水班	給食・給水訓練	給食・給水等

2. 万への備え（リスク管理）

自治会活動に伴う事故等に、以下のように備えています。

西宮市地域避難支援制度 市 防災危機管理課	避難支援者保険	避難支援者としてこの保険に加入した人に付保。
傷害保険	賠償責任保険	
共栄火災海上保険（株） 代理店 西宮市民共済生活協同組合	賠償責任保険 （有）西宮協同サービス	自治会活動全般について保障する上乗せの保険。
ナシ	賠償責任保険	
西宮市自治会等公益活動補償制度 市 地域コミュニティ推進課		自治会活動全般について保障する制度。1階部分。
傷害補償	損害賠償補償	

3. 自主防災会各班のメンバー自身が被災したとき

自主防災会各班のメンバー自身や家族が負傷したり、自宅が損壊や浸水等被災したときは、その程度に応じて任務を免除します。

自主防災会のメンバーは、災害対応の際、自分自身が怪我などしないよう、無理をしない範囲で活動します（二次災害の回避）。

4. 防災倉庫

防災倉庫は千歳公園にあり、救出救護用の資機材等を保管しています。

5. 千歳町自治会防災計画

1. 目的

この計画は、千歳町自治会自主防災会の防災活動に必要な事項を定め、もって地震その他の災害による人的・物的被害の発生およびその拡大を防止することを目的とする。

2. 事業事項

この計画に定める事項は、つぎのとおりとする。

- (1) 防災組織の編成及び任務分担に関すること。
- (2) 防災知識の普及に関すること。
- (3) 防災訓練の実施に関すること。
- (4) 情報の収集・伝達に関すること。
- (5) 出火防止・初期消火に関すること。
- (6) 救出救護に関すること。
- (7) 避難誘導に関すること。
- (8) 給食・給水に関すること。
- (9) 防災資機材等の備蓄及び管理に関すること。

3. 防災組織の編成及び任務分担

災害発生時の応急活動を迅速かつ効果的に行うため、防災組織を編成する。

4. 防災知識の普及

地域住民の防災知識を高揚するため、次により防災知識の普及を行う。

- (1) 普及事業は、つぎのとおりとする。
 - ア. 防災組織及び防災計画に関すること。
 - イ. 地震・火災・水害等についての知識に関すること。
 - ウ. 各家庭における防災上の留意事項に関すること。
- (2) 普及の方法は、つぎのとおりとする。
 - ア. 会報等の配布
 - イ. 懇話会等の開催

5. 防災訓練

大規模地震等による災害発生に備えて、情報の収集・伝達、消火、避難等が迅速かつ的確に行えるようにするため訓練を実施する。また、日ごろより各役割が潤滑に行えるようそれぞれ準備を心がける。

以下に各班の役割を記した図表（P 15 1. に掲載）が続きます。

6. 千歳町自治会自主防災会規約

(名称)

第1条 千歳町自治会自主防災会を結成し、その具体化を推進する。

(目的)

第2条 本会は、住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動をおこなうことにより、地震・風水害等の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 防災に関する知識の普及に関すること。
- (2) 地震・風水害等に対する防災予防に関すること。
- (3) 地震・風水害等の発生時における情報の収集・伝達、初期消火、救出・救護、避難誘導等応急対策に関すること。
- (4) 防災訓練の実施に関すること。
- (5) 防災資機材等の備蓄に関すること。
- (6) その他本会の目的を達成するため必要な事項。

(役員)

第4条 役員は自治会の役員が兼務し、任期は自治会会則の規定を準用する。

(会議)

第5条 会議は、自治会会則の規定を準用する。

(防災計画)

第6条 本会は、地震・風水害等による被害の防止及び軽減を図るため、防災計画を作成する。

2 防災計画は、次の事項について定める。

- (1) 地震・風水害等の発生時における防災組織の編成及び任務分担に関すること。
- (2) 防災知識の普及に関すること。
- (3) 防災訓練の実施に関すること。
- (4) 地震・風水害等の発生時における情報の収集・出火防止・初期消火・救出救護及び避難誘導に関すること。
- (5) その他必要な事項。

附則 この規約は平成19年12月1日から実施する。

マイ避難プラン

災害	避難行動	
南海トラフ地震 津波	避難場所 <input type="checkbox"/> 在宅避難 <input type="checkbox"/> その他 ()	タイミング ※津波警報・大津波警報、避難指示
夙川洪水	避難場所 <input type="checkbox"/> 在宅避難 <input type="checkbox"/> その他 ()	タイミング <input type="checkbox"/> 高齢者等避難までに (警戒レベル3) <input type="checkbox"/> 避難指示までに (警戒レベル4)
土砂災害	避難場所 <input type="checkbox"/> 在宅避難 <input type="checkbox"/> その他 ()	タイミング <input type="checkbox"/> 高齢者等避難までに (警戒レベル3) <input type="checkbox"/> 避難指示までに (警戒レベル4)

いざというときの連絡先

西宮市災害対策本部

0798-35-3456 (災害時のみ)
FAX:0798-36-1990

警察署

(局番なし) 110

消防局

(局番なし) 119

ライフライン

水道	西宮市上下水道局 電話受付センター	受付時間 平日 (8:45 ~ 20:00) 土日祝 (8:45 ~ 17:30)	0798-32-2201
		受付時間外 (宿直室)	0798-32-2271
電気	関西電力送配電 (株)		0800-777-3081
ガス	大阪ガス (株)		0120-7-19424
電話	NTT 西日本	一般電話からは 携帯電話・PHS からは	113 0120-444-113

災害用伝言ダイヤル 171

災害時には電話がつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます。



※災害用伝言ダイヤルは固定電話だけではなく、お手持ちのケータイ・スマートフォンでも使用可能です。
※171に電話するとガイダンスが流れます。詳しいことを覚えていなくてもガイダンスに沿って操作することで伝言を残したり、聞くことができます。